

# き 険な空間を減らそう



いろいろとくふうがしてあるね。

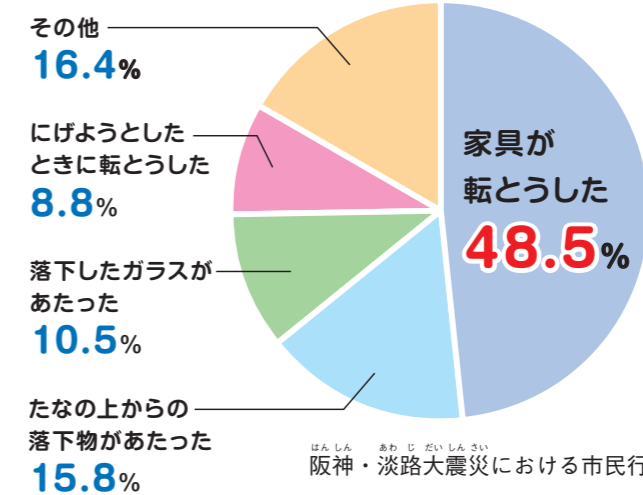


でも……。



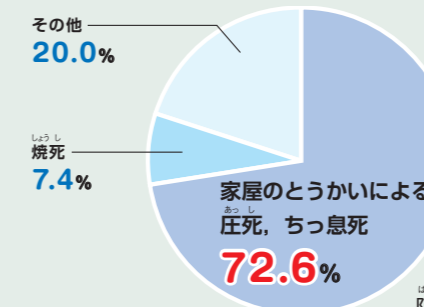
## 阪神・淡路大震災のけがなどの原因

### けがの原因



阪神・淡路大震災における市民行動調査 (神戸市消防局)

### 人がなくなった原因



少しでもき険を減らすには、1階より2階でねるほうが安全だよ。

阪神・淡路大震災の死者にかかる調査 (2005年兵庫県)

## 身の回りのもので応急手当ができます

### ⊕ 出血があるとき

- 出血しているきず口をガーゼやハンカチなどでおさえて、しばらく圧ばくします。この方法が最も基本的で確実な方法です。

▼使えるもの  
ガーゼ、ハンカチ、タオル



### ⊕ ねんざ、こっ折かもしれないとき

- いたいところを動かさないように固定し、少し高い位置にして冷やします。

▼使えるもの  
だんボール、雑誌、新聞紙、木材、タオル、ロープ



### ⊕ やけどをしているとき

- すぐに流水などでいたみがとれるまで冷やします。皮ふをきずつけるので、衣服はぬがなくてそのまま冷やします。
- きれいなタオルでおおっておきます。

▼使えるもの  
タオルなど



### 参考

### 人を運ぶときたんかが役立ちます。

服や長いぼうがあれば、たんかが作れます。



▼使えるもの  
ものほしざお、服